

新聞 読んだ 考えた

2023年10月26日付9面「『続トットちゃん』」

刊行 黒柳さん 『戦争のことありのまま』
新著「続 窓ぎわのトットちゃん」を刊行した俳優でエッセイストの黒柳徹子さん。小学生時代の楽しい日々を描きベストセラーとなった前作とは打って変わり、第2次世界大戦中の出来事が生々しくつづられる。

八戸学院光星高3年 高山 瑠奈さん



今回黒柳さんが新しく書いた「続 窓ぎわのトット

戦争考えるきっかけに

黒柳徹子さんの「窓ぎわのトットちゃん」は、以前読んだことがあります。主人公のトットちゃんが少し破天荒な感じがして、自由に毎日を過ごしている様子が伝わってくる小説でした。

「戦争はいつか終わる。きつとまた家族で暮らせる

思って生きてきたけれど、だんだん心配になって。覚えていたことを書いておいた方が良いと思うようになった」とありました。戦争はもう起こらないだろうと安心するのではなく、いつ起きるか分からない

平和な日々がやってくる」。記事中の黒柳さんの言葉から、平和に対する思いが強く伝わってきました。

い恐ろしいものだ。黒柳さんの気持ちが変わってきたということが、あらためて私自身も戦争を考えるきっかけになりました。この記事でトットちゃんの続編があることを知れてよかったです。